

平成29年度うれしい森保育園自己評価表

項目	内容	評価				備考
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			・職員会議、フロア会議等を通じて共通認識を図った。
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。	○				
保育について	(1) 指導計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			・最新の保育者保育指針に基づき保育を実施した。 ・在園児の状況に合わせて造成・リズム活動を柔軟に行った。
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切におこなっているか。	○				
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5) 評価結果を基に保育の改善に努めているか。		○			
日・時・程	1日の流れ（デイリープログラム）は現行でよいか。	○				
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				・在園児の数及び保護者の要望をもとに無理なく実施した。 ・各行事後に反省点を明確化し、次年度に生かせるようにデータを整理した。
	(2) 行事の狙いを計画時や実行時に十分生かしているか。		○			
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	○			・職務を明確化し、職員に徹底するとともに、職員の能力・特性に応じた配置を実施した。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○		
		(3) 職員の配置は、適材適所になっているか。	○			
		(4) 係や仕事の分担は適切か。		○		
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○			・会議の目的を考慮し、会議への参集範囲、時間を精査し、実施した。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を積極的に実施しているか。		○		
		(3) 各種会議等の回数、時間、内容は適切か。	○			
	クラス経営	(1) 0～1歳と2～5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。		○		・異年齢保育を軸に同年齢児の活動を組み込み活動の充実を図った。
		(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。	○			
		(3) チーム保育を適切に行っているか。		○		
	保健・安全指導	(1) 0～1歳と2～5歳の保健対策は適切に行われているか。	○			・消防法に基づき避難訓練等を実施した。 ・保健便り及び園の掲示板を通じて、保護者に対する情報提供を実施した。
		(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。	○			
(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への普及・情報提供を実施しているか。		○				
(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。		○				
情報	乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				・個人情報に関する書類については、常時鍵のかかる場所に適切に保管し、保育士が参照する場合は、管理者了承のもと実施した。
研修会・講習会について	(1) 各種研修会・講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○			・保育士の要望を把握し、各役職に応じ、各種研修・講習会に参加させ、研修成果報告をさせ、園内の情報共有を図った。	
	(2) 各種研修会・講習会への参加について、職員のニーズを把握して参加させているか。		○			
	(3) 各種研修会・講習会で得た成果を園内で還元しているか。			○		
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○			・定期的に施設・設備点検を実施した。 ・不審者等への対応訓練を実施するとともに、不審者がいた場合は、状況により警察と連携して対処した。	
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。		○			
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納・経理	各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				
開かれた保育所作り	施設間交流・連携	(1) 他施設等との交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○		・保育目標をもとに、姉妹園と連携して幼児が充実するように行事を実施した。 ・新人合同研修等を通じて、保育士相互の理解を深めた。
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援をおこなっているか。		○		
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。		○		
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。		○		
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。			○	
	地域との連携	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。			○	・地域行事については、園の掲示板を通じて積極的に情報発信し参加を促しているが、園として参加の実績なし。
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。		○		
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○	
	子育て支援の推進	(1) 地域の子育て支援センターとして、園庭や保育室等を開放しているか。			○	・保護者会を実施して、「子育てについて」の機会を年2回実施するとともに、随時子育て相談を実施し、子育てに関する疑問、不安解消に努めた。
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	○			
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○		
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を共有しているか。	○			
情報の発信	(1) 保育所便り・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。	○			・各種手段（お便り、ホームページ、連絡アプリ）を通じて園の情報発信を実施した。	
	(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。			○		
外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	/				・第三者評価は平成30年度に実施予定 ・年度末に第三者委員との懇談を実施し、意見交換、情報共有等を実施した。
	(2) 第三者委員制度を活用しているか。	○				

凡例  
A たいへん良い  
B 良い  
C 一部検討を要する。  
D 改善を要する。